

インバスケットのご案内
Inbasket Training Guidance

INBAS

2023© 株式会社 インバスケット研究所

株式会社 インバスケット研究所
Inbasket Research Institute, Ltd.



アメリカ空軍で活用されたトレーニングツール

インバスケットとは、1950年代にアメリカ空軍で活用された能力測定ツールです。

「in-basket=インバスケット」の本来の言葉の意味は「未処理箱」ですが、現在では制限時間内に多くの案件処理を実行し、その処理方法から、能力の発揮度を観察するツール「インバスケット・トレーニング」として、認知されています。



インバスケットの進め方

インバスケット・トレーニングとはどういうものかを端的にいうと、まず、問題集に設定された架空の舞台で「ある役職に突然任命された主人公」という役割を、受験者が割り振られます。

その役職の前任者が残した仕事(案件)を、制限時間内に、いかに的確に処理するかを課題とします。

その処理方法や処理内容によって、受験者の能力値と能力の発揮度を測定するのです。



インバスケットが急速に広まっている背景

当初、日本でのインバスケットは、一部の大企業でしか活用されていませんでした。

しかし、激しい経済環境の変化や管理範囲の広域化など、一般企業の管理者やリーダーにも、より高い職務遂行能力が求められる時代となった結果、現在では一部の企業だけではなく、一般企業、自治体、官公庁など、多くの組織で導入され成果をあげています。



受験者が実際に上位職になったときの判断スタイルや職務遂行方法などをより精緻に、具体的に測定できるアセスメントツールこそ、私共がご紹介するインバスケット・トレーニングなのです。



リーダーとして発揮しなければならない能力を身に付ける

インバスケットでは、リーダーに必要な職務遂行能力をどれだけ発揮できているか、受験者自身が見つめ直し、自分自身の強み弱みを明確にすることができます。

下記の能力例は一例ですが、単に1つの能力値が高いだけではリーダーとして不充分です。なぜなら全ての能力値がバランスよく発揮されて、初めて、有能なリーダーといえるからです。インバスケット・トレーニングでは、リーダーとして今後伸ばさなければならない受験者の能力を明確化します。

インバスケットで測定・育成できる能力例

問題発見力

目標とのギャップだけではなく、本質的な問題点や組織の課題を形成する能力

問題分析力

仮説を立て、それを立証・確認するために必要な情報を効果的に収集したり、問題の原因を究明したりする能力

創造力

従来の枠組みを破る考え方や、様々な情報を組み合わせた対策・アイデアなどを出す能力

意思決定力

論理的に意思決定を行い、それを明確に他者に伝える能力

洞察力

全体の流れや、他の案件との関連性などを把握し、意思決定を行ったり明確な計画を作成したりする能力

計画組織力

部下や組織を有効に活用し、効率的・効果的に組織を運用する能力

当事者意識

主体的に自分で意思決定を行い、自分、またはチームに何が求められているかを察知する意識

ヒューマンスキル

コミュニケーション能力・感受性・コーチング能力などの人間関係に関する能力

生産性

限られた時間の中で、効率的に多くの仕事(案件)を処理する能力

優先順位設定力

業務の重要度を考慮して、処理すべき案件の順番を考える能力

優先順位設定力の向上

洞察力の向上

問題解決力の向上

判断に自信がつく

インバスケット研修を行うことで、これまでに行われた教育・研修内容を実践につなげることができます。



理論や知識を詰め込む、インプット型研修で成果は上がっていますか？



インバスケットは、これまでの研修で習得した知識やスキルを活用する、アウトプット型研修です。

point 1 受講者が本気で取り組みます

インバスケットでは受講者が主人公となるため、決して受け身の学習にはなりません。

point 2 現場に即したシミュレーション

実際の業務の現場に即したシミュレーションを行うため、研修内容が即実践に役立ちます。

point 3 グループワークで広がるプロセス

お互いに意見交換することで自分の考えを整理でき、新しい考え方や気づきを得られます。

point 4 自身の課題や判断のクセを発見

グループワーク、自己評価、講師フィードバックなどから、受講者が自身の課題を認識します。

point 5 脳に汗をかきます

受講後は多くの受講者が極度の疲労を感じます。これは眠っていた潜在能力を發揮するためです。

実際のセミナー参加者様の声（抜粋）

<p>・自分の考え方の傾向を客観的に見ることができた。 ・本日の研修を実際に生かすため、小さな行動目標を決め日々実践して、自分のものにしたいと考えます。 ・明日から毎朝、その日の仕事の流れを決める時間を持つ。</p>
<p>・時間内に優先順位をつけるのが難しかった。 ・重要だけど緊急性が低い業務を、これまでずっと後回しにしてきてまた新たな問題が発生。 ・根本的な問題を解決してませんでした。</p>

弊社主催公開セミナー

インバスケット手法を活用した マネジメント能力向上セミナー

随時開催中 下記 URL からお申し込みいただけます

インバスケット手法を活用した、マネジメント能力向上公開セミナーです。

個人様、企業様派遣、どちらもお一人様よりのご参加が可能です。

自己啓発目的、部署内教育目的など、お気軽にご参加ください。



受講対象者様

次期管理職様、現管理職様、人事ご担当者様など

(書籍などをお読みになり、インバスケット研修を体験したいという方のご参加もお待ちしております)

セミナー内容

1. 管理職に必要なスキル、役割別に求められている能力を理解する
2. 問題集を使用して、実際にインバスケット試験を実施
3. インバスケット的な優先順位設定の解説
4. グループワーク（グループ内の討議、グループでの発表）
5. 回答自己チェック（自分の強み、改善点を自覚する）

マネジメント能力向上公開セミナーの詳細情報・お申し込みはこちらから

<https://www.inbasket.co.jp/service/seminar/>

インバスケット 公開セミナー

インバスケットは、さまざまな職層や目的のために活用できます

管理者・リーダー向け研修

インバスケットを使用して、マネジメント力、判断力などを体得していただきます。

経営層向け研修

社長を模擬体験することで経営思考を体得し、マネジメント力を UP します。

新入社員研修

インバスケットを使用して、社会人としてのマナーや基礎を習得していただきます。

2年目～5年目若手社員研修

成長意欲の高い若手社員の方々を対象に、より効率的、かつ、成果の上がる仕事の進め方を習得していただきます。

自治体向け研修

自治体職員含む、公務員の方々の仕事への前向きな取組みを推進し、問題解決能力を習得していただきます。



1st.

研修1回目

目的

- ・現時点での受講者の能力の把握
- ・インバスケットの基礎知識習得
- ・優先順位設定の習得

方法

標準レベルの教材を使用した研修で
インバスケットに慣れ、インバスケット
思考を習得する。

現場での
実践

研修の1日の流れ



イントロダクション
研修の目的やインバスケットの概要を理解。



個人ワーク
インバスケット問題集を実施する。



講義
優先順位設定の基本を理解する。



現実への応用
実務での問題解決に研修成果をつなげる。



フィードバック
グループワークの結果を講師から講評。



グループワーク
ワークを通して他の考え方を学ぶ。

研修1回目カリキュラム一例

項目名	時間	目的	内容
イントロダクション	10:00 ~ 10:50	研修の目的とインバスケットの理解	スライドを用いて研修の目的とインバスケットの理解を進める ・基礎知識、評価のポイント、プロセスの考え方などを学ぶ
個人ワーク①	10:50 ~ 12:00	問題集を使用した、現在の能力確認	60分20案件（標準）のインバスケット問題集を各自実施、優先順位を考慮して案件処理を行なう
		昼食休憩 1時間	
講義 (重要度と緊急度)	13:00 ~ 13:30	案件の重要度と緊急度を判断し、優先順位設定の基本を理解する	優先順位設定の必要性を、パレートの法則を交えて講師から解説 2つの軸と、影響度への置き換えを学び、優先順位への理解を深める
グループワーク① (優先順位設定)	13:30 ~ 14:20	講義で習得した優先順位設定を実践 自分の考えをグループメンバーに論理的に伝え グループメンバーの考え方を学ぶ	各自の優先順位設定をグループ内で発表・討議し、グループごとに優先順位設定を実施 グループごとに発表し、講師からグループへフィードバック
		休憩 10分	
グループワーク② (優先順位が高い 案件の処理)	14:30 ~ 16:10	問題解決力を習得する	個人ワーク①で行った各自の案件処理をグループ内で発表・討議し、グループごとに討議結果を発表、講師からグループへフィードバック ・問題解決プロセス、問題発見のポイント（見える問題・見えない問題）、意思決定の種類、対人関係能力 ※個人の回答についてのフィードバックはいたしません
		休憩 10分	
個人ワーク③ (自己チェック)	16:20 ~ 16:40	自分の強み・弱み、改善点を確認し、案件処理の抜け漏れを把握する	各自の回答とスコアリングシートを比較して自己チェックを行い、その違いを知る
まとめ (講評と動機づけ)	16:40 ~ 17:00	納得感の確認と、疑問点・悩みの解消 今後職場で活用するための動機づけ	質疑応答、事後課題（翌日から実行する行動目標を各自、3つ設定して行動変革シートに記入）を行う

研修1回目で実施した個人演習の結果を、弊社にて採点・グラフ化します（次項「アセスメント」参照）。

2nd.

研修2回目

目的

- ・インバスケット法の実践的習得
- ・課題設定と戦略立案
- ・問題解決力の習得

方法

研修1回目よりも難易度の高い教材を使用し、案件処理だけではなく、マネジメント層に必要な「課題設定と戦略立案」までを実践し、講師による全体へのフィードバックを実施する。

研修2回目の一例



課題設定
数多くの問題点から、リーダーとして解決すべき課題を抽出する。

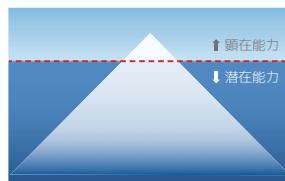


戦略立案
リーダーとして、常にライバルより有利な立場に立つための戦略思考を身に付ける。

研修2回目カリキュラム一例

項目名	時間	目的	内容
前回の振り返り	10:00 ~ 10:40	前回の振り返りと活用度の確認	前回の概略確認とフィードバックシートの見方、他者の活用事例などを講師から全体へ紹介する
個人ワーク①	10:40 ~ 11:50	問題集を使用した、現在の能力再確認	前回より難易度を上げた60分20案件のインバスケット問題集を各自で実施する
		昼食休憩 1時間	
グループワーク① (優先順位設定)	12:50 ~ 13:20	前回習得した、あるべき優先順位設定の実践 グループメンバーに自らの判断を論理的に伝え、グループメンバーの観點を聴く	各自の優先順位設定をグループ内で発表・討議し、グループごとに優先順位設定を実施 グループごとに発表し、講師からグループへフィードバック
グループワーク② (優先順位が高い 案件の処理)	13:20 ~ 14:20	問題解決力を習得し問題の本質を見極めるための「問題発見力」を学ぶ	個人ワーク①で行った各自の案件処理をグループ内で発表・討議し、グループごとに討議結果を発表、講師からグループへフィードバック ・問題点の基準設定、読った方向に誘導されないためにどうするか ・優先度の高い発生型問題の処理を行う ※個人の回答についてのフィードバックはいたしません
		休憩 10分	
個人ワーク③ (課題設定)	14:30 ~ 15:20	課題設定力の習得	インバスケットの案件を使用して組織のあるべき姿を設定し、そこに至るための課題を抽出する
		休憩 10分	
グループワーク④ (戦略立案)	15:30 ~ 16:40	中長期課題を解決するための、戦略立案能力の習得	課題に対する戦略をグループで立案し、グループワークの結果を検証する
まとめ (講評と動機づけ)	16:40 ~ 17:00	納得感の確認と、疑問点・悩みの解消 今後職場で活用するための動機づけ	質疑応答

アセスメント



受験者が普段見せている能力(顕在能力)は、受験者の能力全体のごく一部でしかありません。当研究所のスコアリングシステムは、管理職やリーダークラス選抜時の補助データとして、受験者の顕在能力と併せて潜在能力の発揮度も可視化できるツールです。

インバスケット アセスメントの流れ

評価内容の確認

問題集選定
または開発

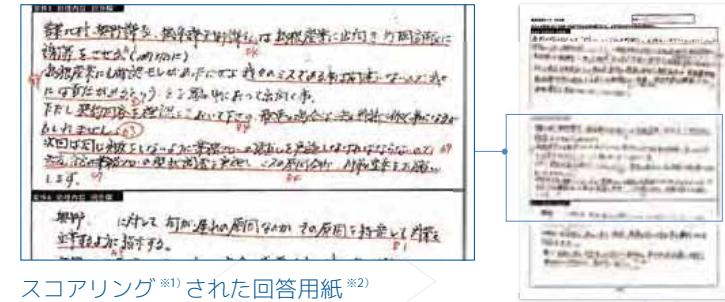
アセスメント実施

スコアリング

分析・評価

フィードバック

アセスメント結果は人材育成担当者様だけではなく、受験者ご本人にもフィードバックすることをお勧めします。直接フィードバックを受けた受験者は、そうでない場合と比べ比較にならないほどの大気きを得られるものです。



スコアリング^{※1)}された回答用紙^{※2)}

66の評価項目できめ細かくスコアリング

弊社独自の 66 の評価ポイントで、受験者の顕在能力・潜在能力を丁寧に点数化します。

フィードバックシートについて

受験者の能力値を
わかりやすく可視化

グラフで表示するので
能力発揮度のバランス
が一目でわかります。

独自のシステムによる
具体的な分析・評価結果
スコアリングから読み取った現在の受験者の
仕事の進め方や判断スタイル、今後の課題を分析してお知らせします。



↑顕在能力
↓潜在能力

受験者が普段見せている能力(顕在能力)は、受験者の能力全体のごく一部でしかありません。

当研究所のスコアリングシステムは、管理職やリーダークラス選抜時の補助データとして、受験者の顕在能力と併せて潜在能力の発揮度も可視化できるツールです。

インバスケット・スコアリングの種類

スコアリング(記述式)

- 受験者が文章を考えて回答する方式です。管理者など上位職の選定におすすめの採点方法です。
- オンライン、紙のいずれでも実施でき、受験者1名の回答について3名の専門スタッフが精密に評価します。

スコアリング後のアウトプット

個人の傾向分析には「フィードバックシート」「フィードバックレポート」「My マニュアル」の3種類、組織の傾向分析には「組織分析レポート」をご用意しています。詳しくはお問い合わせください。

フィードバックシート

納期 回答受領後、約1か月
採点費 22,000円^{※3)※4)※5)}
内容 点数化、グラフ化された10の能力の発揮度を基に受験者へのフィードバックや教育への活用が可能。



フィードバックレポート

納期 回答受領後、約1か月
採点費 27,500円^{※3)※4)※5)}
内容 点数化とともに回答から分析した「受験者の傾向」を記載した、より活用しやすい8ページの小冊子。



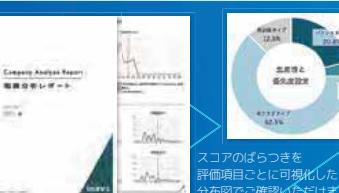
My マニュアル

納期 回答受領後、約1か月
採点費 33,000円^{※3)※4)※5)}
内容 回答から分析した「受験者の傾向」とともに能力の改善方法を記載した、約180ページの書籍。



組織分析レポート

納期 スコアリング結果返却後、約10日
費用 110,000円/社^{※3)※5)※6)}
内容 受験者のスコアリング結果と弊社が保有する過去5万人の数値データを基に、現在の組織の傾向を分析し、今後の課題と改善策をまとめた16ページのレポートです。



社会人基礎力分析サービス

- 新社会人に必要な知識や仕事の進め方を学ぶ専用教材を用いて測定します。
- オンライン、紙のいずれでも実施可能です。

納期 回答受領後、約3週間

採点費 7,700円^{※3)※4)※5)}

内容 経済産業省「3つの能力と12の能力要素(社会人基礎力)」に基づく評価です。裏面は、評価項目のイラスト付解説です。



クイックインバスケット

- 受験者が語群から選んだ言葉を組み合わせて作った選択肢で回答する方式です。初級管理者やリーダーの選定におすすめです。
- オンライン、紙のいずれでも実施可能で、独自のシステムで記述式より短時間で採点します。

納期 オンライン:即時

紙:回答受領後、5営業日

採点教材費 3,300円^{※4)}+55,000円^(別途)^{※7)}

内容 記述式と同じ評価します。



※記載の金額は、全て弊社既存の問題集を使用した場合の基本費用(税込表記)です。弊社オリジナル問題集の開発、または既存問題集のカスタマイズ(セミオリジナル)も承りますが、その場合は別途、教材開発費が発生いたします。また、オリジナル問題集開発には3か月以上の開発期間(1教材当たり百回)が必要です。詳しくはお問い合わせください。
※3)オンラインでの実施をご希望の場合は、別途、初期導入費が必要となります。詳しくはお問い合わせください。
※4)1名様あたりの費用です。
※5)別途、受験者人数分の教材費が必要となります。
※6)別途、受験者人数分の採点費が必要となります。
※7)クイックインバスケットは自動採点式のため、オンラインか紙かを問わず、初期導入費が発生します。

問題集名 …記述式問題集(スコアリング可)
 問題集名 …記述式問題集(社会人基礎力分析サービス専用)
 問題集名 …クイックインバスケット専用問題集
 問題集名 …記述式問題集(スコアリング不可)
 問題集名 …グループ・インバスケット専用問題集
 (組み合わせ式/スコアリング可)

※ 記述式問題集(スコアリング可) 問題集名 / 不可 問題集名 / 社会人基礎力分析サービス専用 問題集名)は、WEB インバスケット問題集として展開しているものを含みます。

経営幹部クラス	IM-1				UNITE TABATA-7 TABATA-8 TABATA-9 TABATA26
	HOTEL CORDOVA コスモシネマズ あおば山ハイランド	アレックス ニューオイ 葉加瀬住宅 ヤマシロ	HAYAMA-1 HAYAMA-2 HAYAMA-3 ホテル水晶閣 HOKUTO	MEIRIN ブロードガイア ASAHI 山内百貨店 CC-2221	
GIB-2 (管理職)	スリーブ寝具 サンマリノ企画 ステラペイント	HARUMI KITAKAMI シマリス鉛筆 ベストフーズ	PAKILA-4 PAKILA-5 PAKILA-6 GINGA-1 ビーンズ パリュートラベル YAYOI	CRANE WWP ENDRASILL MIHARA-1 深井市役所 ロジウム	
GIB-1 (主幹、リーダー版)	SY SY2 青海ブックス シリウス 下野電機	NANGOKU PHR SONIC ノア	TAMA MIKE MACARON20 マープル モリタニ ユニオンランド SSR	NATSUME YAMANEO MACARON エディモール ラ・ボッテ ミラノ(人事考課)	
GIB-3 (若手版)	AP	仕事の進め方 トレーニング TT-5 NTS ブルーノバーグ コボマート 春野書房	BASIS ハルフルーレ ZENMAI		
ゲーム・社会人基礎力版	新入社員 員クラス 若手社員 / 対象層				
設定時間(分)	15~20	30~45	60	90 ~	

企業概要



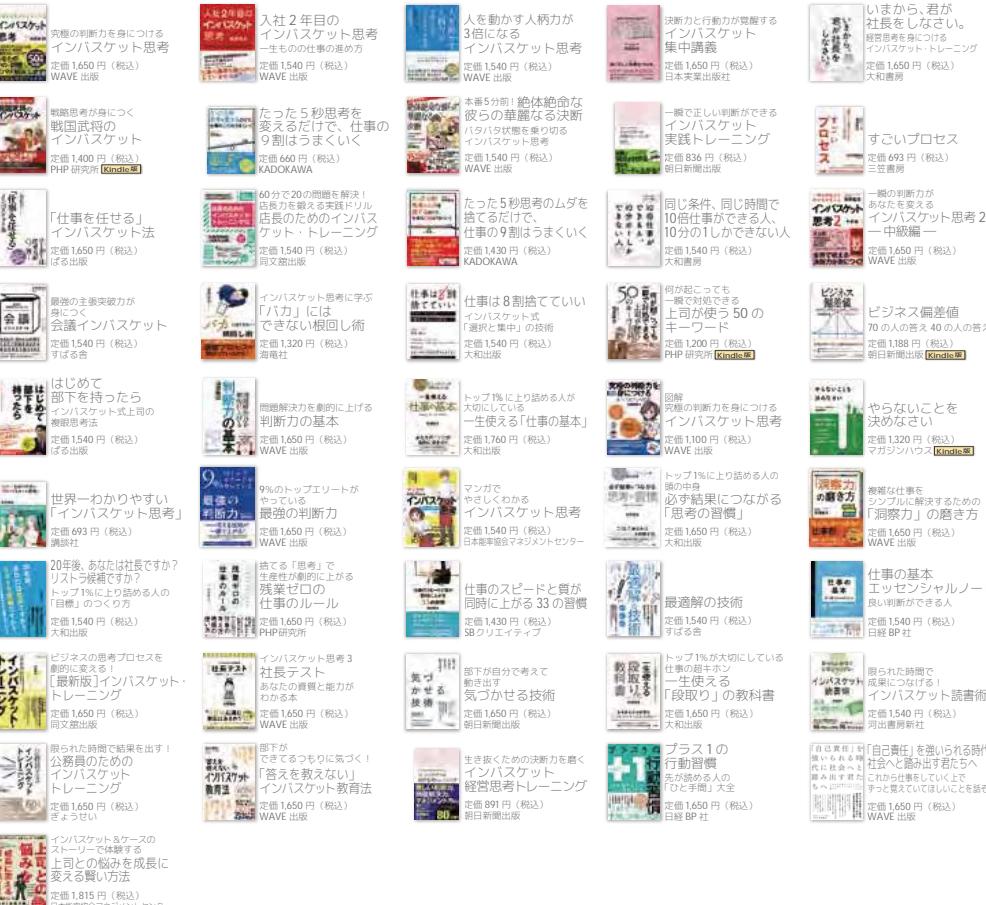
鳥原 隆志 (とりはら たかし)

株式会社インバスケット研究所
代表取締役社長
インバスケット・コンサルタント

略歴 大手流通業にて精肉や家具、ワインなどさまざまな販売部門を経験し、スーパーバイザー（店舗指導員）として、店舗指導や問題解決業務に従事する。昇格試験時にインバスケットに出会い自己啓発としてトレーニングを開始。その経験と問題解決スキルを活かし株式会社インバスケット研究所を開設。これまでに作成したインバスケット問題集は、幅広い層に支持されています。

法人様向けのインバスケット教材開発と導入をサポートする日本のインバスケット・コンサルタント第一人者としてテレビやラジオに出演し、ビジネスパーソンの行動分析を行うなど活動中。

講演歴 2023年10月現在、東証一部上場企業を含む法人、官公庁での講演実績多数。



事業内容 インバスケット法を用いた個人・法人向け教材開発・販売
インバスケット法を用いた人材育成、並びに能力開発に関する各種セミナー

株式会社 インバスケット研究所
Inbasket Research Institute, Ltd.

代表者名：鳥原 隆志
設立：2009(平成21)年11月
資本金：1,000万円
URL: <https://www.inbasket.co.jp>
mail: houjin@inbasket.co.jp

東京本社 〒135-0064 東京都江東区青海2-4-32 タイム24ビル17階
TEL: 03-5579-6555

大阪本社 〒599-8237 大阪府守口市中区深井水池町3152 KU深井オフィスビル1・3・4階
TEL: 072-242-8970